

令和7年度第3回 油川中学校区運営協議会 報告事項



令和7年11月28日（金）

CSD 柿崎 孝治

旧油川配水所のスクールゾーン側の ブロック塀解体



12月上旬から工事を行うことになりました

12月1日から工事が始まりました



11月5日午前目撃情報があり午前中には「クマに注意」の看板設置



11月5日、栗島神社向い西田沢で撮影された熊

なんと油川小学校田植え・稲刈りの田んぼの下の天田内川



11月9日午前目撃情報があり午前11過ぎには「クマに注意」の看板設置

天田内側上流では草刈がされていない、熊が歩いているいても目撃されない



目撃された「ふなおかはし」付近は除草されている



ツキノワグマ用ドラム式箱罠を設置



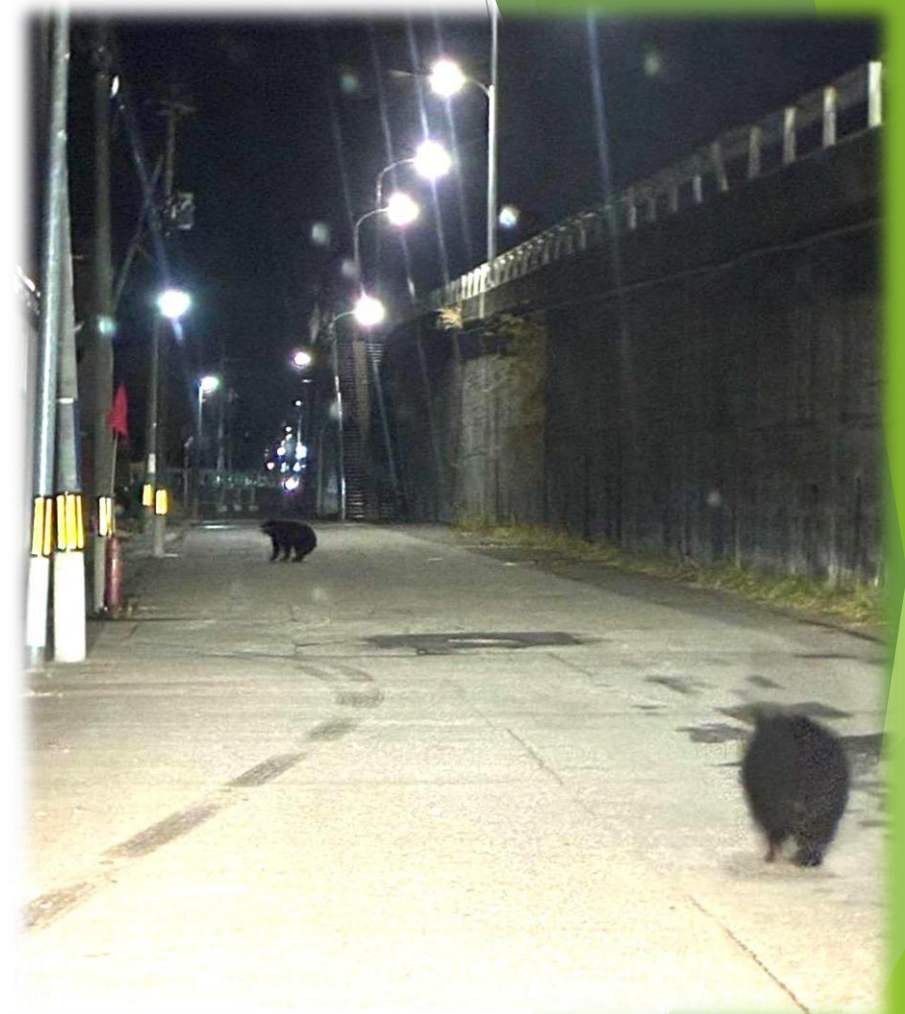
ツキノワグマ用ドラム式箱罠、ドラムの中にはエサが置かれている





2025年11月27日

**クマが目撃されたのは青森市原別地区周辺。
住宅街などで目撃が4件相次ぎました。
猟友会が出動、警察がパトカーで警戒にあたりました。
親子のクマカメラの前に！ 鳴き声もあげる
けさも目撃情報が寄せられ近くの学校が警戒を強める**



原別地区を歩く親子と思われる熊2頭



11月26日同じ場所付近と、27日、羽白沢田(ひばりの町会)で目撃情報



令和7年11月28日（金）東奥日報朝刊から抜粋

市内では26、27の両日、市西部にある油川小学校や青森北高周辺でもクマの目撃情報があった。17日には青森駅から直線距離で1キロない沖館付近でも目撃情報があった。市中心部であっても気が抜けない状況が続いている。

市教委は今月上旬にクマの対応マニュアルを学校に提示した。学校近くに出没した場合は原則保護者の送迎が必要ーなどの対策を各校に求めている。

本来であれば山奥で冬眠に入る熊、里には絶対来なかった



村回りの前参加者全員で飛龍神社で記念撮影(セッティングのため獅子面付けたまま)



11月9日(日)油川獅子舞保存会獅子舞保存会「獅子舞の締め」で村回り



**天田内川「ふなおか橋」付近で熊の目撃情報がありました
警察官に見守られながら無事終了することができました。**



**小学生がよく利用する「油川仲町」のバス停がある西田酒造店前
市内で唯一の「こみせ」は現在のアーケード、雪止め仕切りが設置されました**

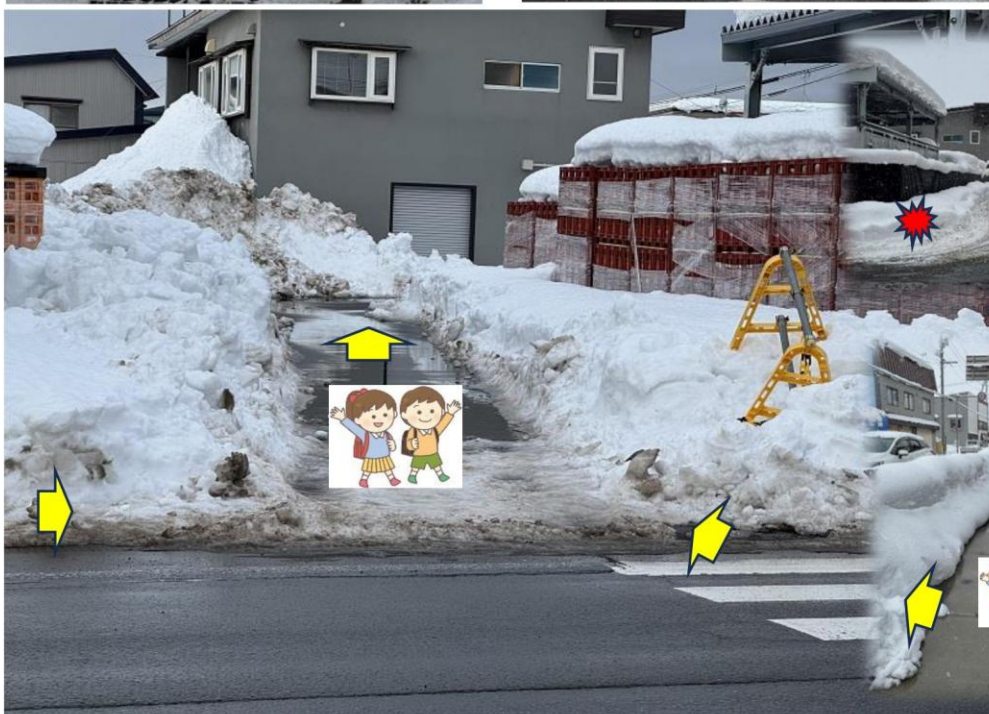
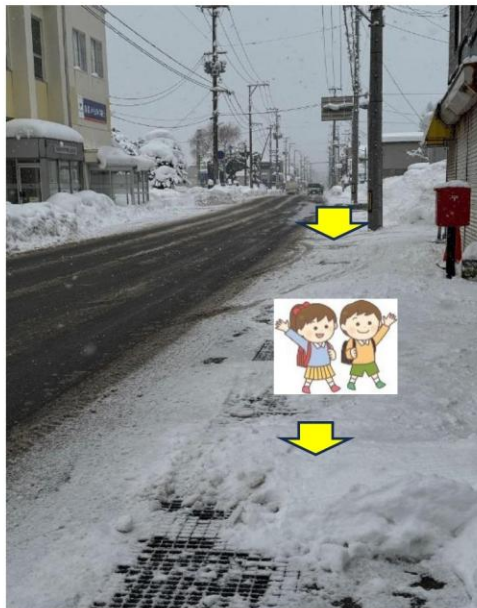


「西田酒造店提案」 児童を冬期間雪が積り見通しが悪くなるため西田酒造店の敷地を通ってもらう



冬期間「西田酒造店前交差点」危険回避西田酒造店敷地を開放していただき児童・生徒が通学路として利用します

雪が降れば毎朝除雪してくれます



油川地域のこと「油川駅郵便局」

窓ガラス清掃

道具はリヤカーで運んできました

11月25日(火) 青森県立第一高等養護学校油川駅郵便局と油川駅ホーム待合室で美化活動



月折さんによる月2回の生け花、癒されると評判です



窓ガラス清掃、床、イスの清掃

11月25日(火) 青森県立第一高等養護学校油川駅郵便局と油川駅ホーム待合室で美化活動

ガラスも床もきれいになりました



お知らせとお願い



冬期間は



自転車置き場を縮小致します
自転車持ち帰ってください

油川駅応援実行委員会

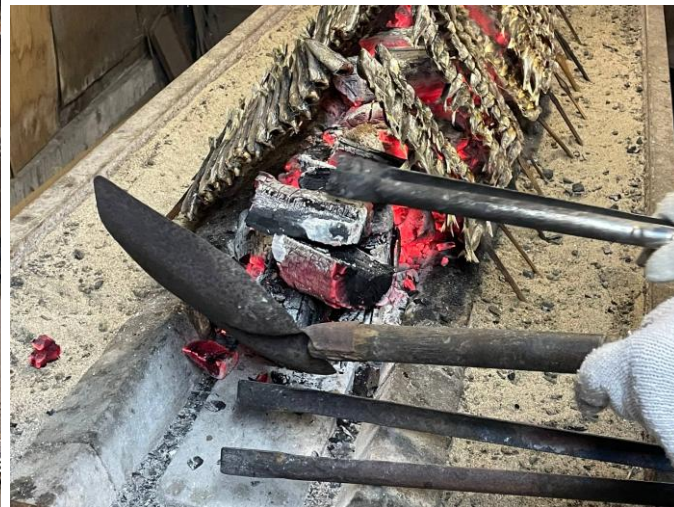
雪が降る前に自転車置き場も整理整頓・縮小



越後谷さん(80代)が小学生の頃、カタクチイワシが油川港で大漁だと家から学校に電話があって「焼き干し作りで忙しくなるから家に帰して」と電話があって早退しなければならなかったそうです



家業優先の時代の話ですが



焼き干しで使用するイワシは主に「カタクチイワシ」
最近では資源の枯渇で獲れなくなってしまった



青森歴史資料室工藤大輔室長

さて、先日、編さん室にある、大正8年(1919)の油川村の町制施行に関する史料を読んでいたら、「焼き干し」に関する面白い記述を発見しました。この年の3月24日付で油川村長が県知事にあてて油川村の町制施行を要請する文書のなかに、村の産業に関して記した部分があって、そこに「焼き干し」が出てくるのです。

(「青森市史」第2巻より)

その文書によれば、油川村では秋の背黒イワシ漁で、カツオ節の代用となる焼き干しを作り、秋田・山形・新潟に移出しているとあります。しかも、この焼き干しは数年前に油川村が初めて製造したもので、村の特産物となったそうです。そして、これが陸奥湾沿岸各地に広がって、あろうことか「油川産」の名称で密かに移出されていたというのです。

油川ブランドの「焼き干し」⇒「大浜のダシ」(津軽地域での呼称)

終わります